

国立公園
ガイドブック

パークガイド

大山



大山隠岐国立公園





目 次

美しい季節の装い
大山の四季.....2
 ◆人の暮らしを見つめ、ともに支え合う山、大山 市毛 良枝.....2

大山隠岐国立公園
大山地域のプロフィール.....10
 ◆大山へのアクセス.....11

大山隠岐国立公園
大山隠岐国立公園(大山地域)索引図.....12

大山の案内役
大山自然歴史館.....14
 ◆大山情報館.....15

名所旧跡が点在する
大山寺周辺を訪ねる.....16
 博労座／大山寺参道／いにしえに思いを馳せる歴史的建造物／大山のキャンプ場／大山のスキー場／季節を彩る伝統行事
 ◆大山の食を楽しむ.....16

大山自然探勝路ガイド①
阿弥陀堂コースを歩く.....18
 ◆大山の僧兵.....18
 ◆大山道.....20

大山自然探勝路ガイド②
寂静山コースを歩く.....21
 ◆地藏信仰.....22

中国地方の最高峰に登る
大山登山.....24
 登り始めはゆっくりベースで／急登が続く7、8合目／ダイセンキャラボクの群落を経て頂上へ／行者ルートで元谷へ下山
 ◆ダイセンキャラボクの純林.....24
 ◆大山の生い立ち.....26

大山は昆虫の宝庫
チョウ図鑑.....27

大山の自然を守るために
大山の保全活動.....28
 ◆大山トイレマナーアップキャンペーン.....28

大山山麓に広がる
樹水高原で遊ぼう.....30
 ◆大山まきば みるくの里.....30
 ◆樹水の由来.....30

奥大山の豊かな自然にかこまれた
鏡ヶ成に泊まろう.....31
 鏡ヶ成キャンプ場／鏡ヶ成スキー場
 ◆休暇村 奥大山.....31

牧歌的景観のリゾート地
蒜山高原に泊まろう.....32
 蒜山高原サイクリングロード／蒜山縦走／三平山トレッキング／毛無山に登ろう
 ◆休暇村 蒜山高原.....33

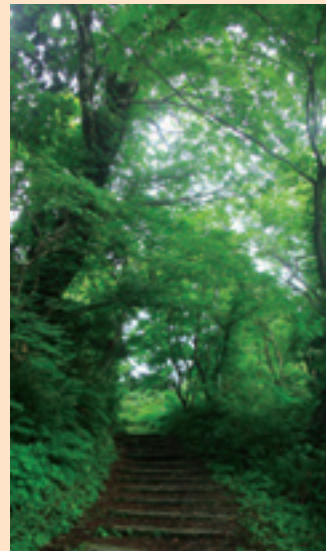
見どころあれこれ
大山周辺ガイド.....34
 赤松池／大野池／鍵掛峠／大平原／鬼女台／船上山／大山滝・一向平
 ◆とっとり花回廊.....35

大山でバードウォッチング
野鳥図鑑.....36

大山の可憐な植物たち
花図鑑.....38

大山寺、その盛隆と衰退
大山の歴史.....44
 大山の宗教的夜明け／大山の地藏信仰／伯耆大山の祈禱／大山寺の組織と経済／明治維新の廃仏毀釈／新しい胎動

主要機関・交通機関・観光問い合わせ一覧.....48



大山自然歴史館

国立公園の案内役

アカマツやブナ、ミズナラの林を抜け、急に視界が広がると大山の玄関口である博労座に到着する。博労座は、江戸時代の中頃から昭和初期まで、日本三大牛馬市の一つ「大山牛馬市」が開かれていた場所である。

そして、その正面に建つのが雄大な大山北壁を背景にした鳥取県立大山自然歴史館である。ここは、大山地域の豊かな自然や歴史文化を紹介する施設で、大山を訪れたときはぜひ立ち寄ってみたい。



大山のさまざまな情報を提供

大山自然歴史館は、大山を訪れる人たちに最新の情報を提供し、工夫を凝らした多彩な展示で大山周辺の自然・歴史・文化を紹介している。

参道側入り口から入ると、まず目につくのが、旬の情報コーナーだ。大山周辺の登山道の状況や気象、季節ごとの草花、紅葉、イベントなどの情報が掲示されており、登山や散策に大変役立つ。これらの情報は、登山経験豊富な「山岳情報スタッフ」や職員により集められ、写真なども掲示されている。日々更新されるので、最新の情報が入手できる。

また、インフォメーション窓口には、大山の散策マップや登山マップなども置かれている。



登山してもらおう「一木一石運動」を始めた。これらの資料を使用し、山頂付近の緑化活動が進められ、今では緑がよみがえっている。

現在でもこの活動は継続されており、最近では山頂トイレの汚泥をボランテアによる人力で担ぎ降ろす活動も始まっている。

また、二階には眺望抜群の展望テラスがある。正面に日野川河口に発達した砂洲の弓ヶ浜が一望でき、^{ひょうろ}中海や鳥根半島はもとより、気象条件がよければ遠く隠岐島まで見渡すことができる。晴れた日には美しい夕日が見られ、素晴らしい景色が堪能できる。

大山自然歴史館の催し

大山自然歴史館では、四季それぞれに多彩なイベントを行っている。その中の一つが大山自然観察会だ。この観察会は昭和五十一年から開催されており、地形・地質、植物、動物、歴史の各分野の専門の観察会指導員が担当している。春と夏、秋の三シーズンごとに行われている。

大山の広大なブナ林や野鳥の



夏休み期間中の昆虫図鑑作り

●大山自然歴史館の開館時間
午前9時～午後5時（7月21日～8月20日までの期間は、午後6時30分まで）
12月29日～1月3日は休館 入館無料
〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山43
電話：0859-52-2327



野鳥観察会

多彩な展示コーナー

では、館内をコーナーごとに説明していこう。「大山の誕生」コーナーは、大山が今から約百万年前から二万年前までの間に、火山活動によって形成された山であることが、映像や岩石標本、図解などによってわかりやすく展示されている。

また、最近行われた温泉掘削のボーリングコアによる大山の地下構造の展示は、興味深いものがある。さらに、大型地形模型では、大山を中心とした周辺の山々が立体的に紹介されている。壁面には大山を東西南北、各方面から見た四季折々の写真パネルが並び、大山の自然豊かな表情が楽しめる。「大山に生きる」コーナーでは、西日本一の面積を誇る大山のブナ林やそこにすむ動物、キノコなどが紹介されている。展示されているキノコや爬虫類、両生類のレプリカは、すべて実物から型をとって制作されており、色、形など本物と見まがうほどだ。

大山の歴史を紹介しているのが「大山を仰ぐ」コーナーだ。奈良時代から現代までの大山の歴史をひととき、往年の地蔵信仰、かつ

大山情報館

●開館時間：午前8時～午後6時30分 入館無料
〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33
■大山町観光案内所 電話：0859-52-2502
■自然公園財団鳥取支部 電話：0859-52-2165



景はもちろん、天気の良い日は、隠岐諸島や三瓶山が望まれる。

また、この建物は屋根に太陽光発電システムを設置し、補助電力として利用している。さらに、雨水を集水・ろ過してトイレで利用するほか、熱を逃がさない換気設備、断熱性に優れたペアガラスを使用し、暖房などの省エネルギー化を図っている。全館バリアフリーとなっているので、誰でも自由に利用できる。大山を訪れたらぜひ立ち寄ってみよう。



大山隠岐国立公園大山地区の自然・観光情報を発信する新しい拠点として、平成15年11月13日にオープンした。鳥取県産のアカマツと大山の安山岩を配した外観が印象的だ。

建物は3階建てで、1階は路線バス及びシャトルバス（冬期間のみ）の待合所、



更衣室、公衆トイレがある。ここでは、大山情報館の維持管理を行う財団法人自然公園財団鳥取支部の事務所もあり、窓口では大山周辺の自然やアウトドアに関する幅広い情報を提供している。

2階は、大山町観光案内所と環境省米子自然環境事務所大山出張所、休憩室、バルコニーがある。

大山町観光案内所では、大山周辺の観光案内、宿泊の斡旋、各種イベントの企画や実施を行っている。休憩室では、大型ディスプレイとタッチモニターで大山隠岐国立公園にかかわる情報をわかりやすく紹介している。バルコニーからの眺望は必見で、大山の四季折々の自然の風

の大山道及び牛馬市の状況、今も続いている年行事などが年表や写真、模型などで解説されている。モニターでは、信仰の山であった大山の歴史が紹介されている。

また、展示室の一角には資料コーナーがあり、自然科学系や人文歴史関係の図書類、パソコンなどが設置され、調べものなどにも便利である。

自然保護活動と大山

二階に上がると「大山とふれあう」コーナーがある。崩壊の進んでいる大山の保全活動や自然保護活動が紹介され、大山山頂の自然が、多くのボランテアにより守られていることがわかる。

大山の保全活動の歴史は古い。昭和四十年代以降に登山者の増加によるゴミの投棄や踏みつけで、山頂部分の裸地化や風雨による浸食が急激に進行した。この状況を危惧した大山を愛する人たちが「大山の頂上を保護する会」を結成し、登山者に石や苗木を持って



「大山を仰ぐ」コーナー